	質問事項	記述式回答
来年秋を見据えて、現在の景気の基調		
1	があれば、合わせて300字以内でご記入ください。 ① 消費の安定的増加、それを支える雇用者数・賃	消費増税後の個人消費はネガティブな影響を受けたが、天候要因や円安などその他の影響を考えると、実質的にそれなりの水準を維持。雇用の伸びは限定的でも賃金は上昇中。よって今後の消費動向はまだら模様でも改善が期待される。企業収益は自助努力が効いて復調ケースが散見。物価の伸びは低下しているが上昇基調。円安に関わらず貿易赤字が続く構造問題を抱えてはいるが日本景気は消費増税を断念する程悪くはない。世界中の中銀から潤沢な資金供給がなされた結果、ファンダメンタルズ以上にマーケットは強気で推移。財政策と景気維持に一定の配慮はいるが、法制化された消費再増税を断念してアベノミクスへの信頼が揺らぐことの方を避けるべき。
地方創生・地域活性化		
2	地方創生・地域活性化に向けて、重点的に取り組むべき課題及び対応策につき、ご自身(自社)の知見・経験も踏まえてお考えを300字以内でご記入下さい。その際、地方が抱える課題の背景についても、併せてご記入下さい。	地方に人が住む仕組みづくりが必要。コスト対比で便益が高い都会に人が集まる状況を変えるには、税制も含めた包括的な対応が必要。一つのアイデアとして企業や大学、官庁などの誘致が考えられる。また、お金の流れを作ることとして、地方創生ファンドを作ることもよいのではないか。地方に眠る企業(魅力ある製品など)をうまく商流に乗せるために、地方の高齢者や富裕層の資金を使うことを考えたい。地方銀行は当該地方の企業、高齢者・富裕層の情報すべてを持っているため、うまくつなぎ合わせることができるのではないか。地方銀行の再編は常に話題となるが、地方創生の動きに合致する生き残り策を提示できれば一挙両得となるかもしれない。
その他		
3	10月下旬の為替相場は107円台付近で推移しています。最近の為替相場の動向やその景気への影響について、ご見解があれば300字以内でご記入ください。	いささか行き過ぎの感があるのではないか。円安による悪影響が出始めていることが懸念される。企業業績は全体的に強含みでも、円安は輸入企業の業績にはネガティブである。輸入物価の上昇が家計の実質購買力を下げてもいる。株式市場には円安・株高・景気好調といった連想が未だにあるようだが、その連想が実態ではないと気が付けば株価には押し下げ効果となることにも注意が必要である。